

ペットの臭気の原因と消臭の基本対策

ペットの臭気は、人と異なる腸内常在菌による食物消化、排泄物による異臭である。(人とは違う臭いであるために、人にとっては不快臭となる。)

人は特別な場所と設備があるところで食事・排泄をするが、ペットは適格な飼育方法が確立できていない(躰ができていない)と室内中がトイレとなるのは当然である。

排泄物には、ペット(動物)特有の腸内微生物が存在する。微生物が排泄されることにより、嫌気性微生物が腐敗臭を放出するのである。たんぱく質(尿、便)に含まれる嫌気性微生物は、時間の経過とともに、特に日が当たらない所で異常な臭気を放つ。これがペット臭の直接原因である(※嫌気性微生物は空気と日光があると死滅する)。

従って、たんぱく質の汚物(目に見えない場合もあるが残留タンパクの試薬で判定できる=<参考資料 残留タンパクの検査キット>を参照)に大量の細菌が存在し、増殖するので①たんぱく質を分解する有用のペプチラーゼが含まれた洗浄剤による洗浄、②加熱、③蒸気の噴射により分解促進することが絶対条件となる。

これなくして次は始まらない。